

事業者：アジア食肉輸出物流合理化協議会

計画概要

香港最大の外食チェーンからの膨大かつ多種多様な食肉・食品需要に対して、日本国内の主要な食肉メーカーを当協議会が束ね、全国の複数の地方の港から船を出しても現地の倉庫に確実に同じタイミングで同期させて納品する「広域分散・着日一斉同期型の共同物流システム」を確立する。この取り組みを通じて物流生産性を抜本的に向上させ、ひいては日本の優れた食材の価格競争力を維持・向上させる。

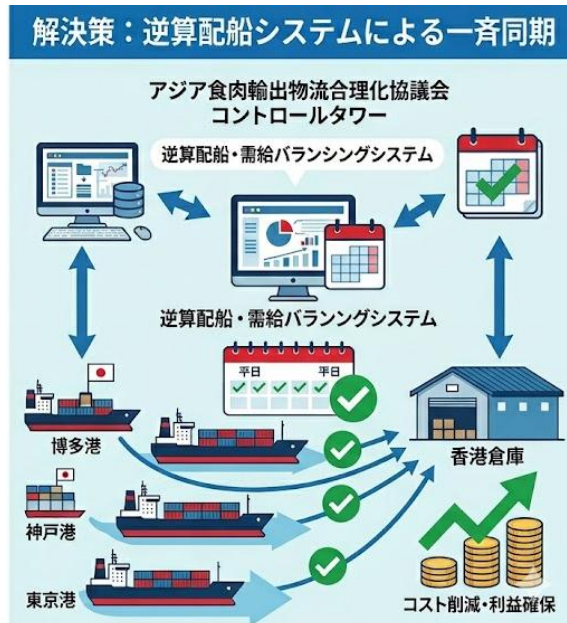
目標

取扱総売上高を現在の約**38億円/年**から、令和12年には**80億円/年**へと倍増させる。

食料システムへの寄与

- ・ 地方港を活用した「広域分散出荷」と、現地の「着日一斉同期」をシステムで連動させ、現地滞留コストと国内運賃の無駄を大幅に削減し、食肉事業者及び畜産農家の所得向上に寄与。
- ・ 国内産地・食品メーカーの輸出拡大による生産・供給基盤の強化により、海外（香港）及び国内の消費者に高品質な日本産品を適正価格で享受できる環境づくりに寄与する。

計画のイメージ



(2026年6月29日認定)